

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和5年度第3回サービス向上部会

開催日時 令和5年10月25日(水)10:00~11:00

参加者所属機関名等

ながでんハートネットカラー's 中野、ながでんハートネット中野ポルカ、
ながでんハートネットメゾふおるて、こどもプラス信州中野教室、ひふみ中野たかおか教室、
中野市社協指定訪問介護事業所、グループホーム青りんご、のぞみの郷高社、
北信圏域障害者生活支援センター、未来工房つむぎ、山ノ内町社協指定訪問介護事業所、木島平村社協指
定訪問介護事業所、野沢温泉村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、
一般社団法人きぼう、むぎとはな、信州子育てみらいネット、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

①開会 ②他部会の活動状況 ③今年度の研修会について ④各グループに分かれて ⑤その他

会議で話し合われた事

1. 開会

2. 他部会の活動状況

○精神部会…地域移行の取り組みとして圏域内外の精神科病院に対して長期入院者の実態調査を実施した。
今後、課題等を精査していく。

3. 今年度の研修会について

権利擁護部会 虐待予防 PJ と共催とし虐待予防に関する研修会を企画する。内容は虐待防止に関する取り
組みや、工夫している点等を持ち寄るワークショップを行いたい。虐待予防に関する取り組みや、工夫し
ている点について本日の部会でもグループ毎話し合っていたいただくこととなった。

4. 各グループに分かれて

○ヘルパーグループ

昨年度に引き続きヘルパーの人材不足について状況を共有した。その一つの要因として、ヘルパー職に対
する処遇があげられ意見交換を行った。

○暮らしの場グループ

虐待防止に向けた取り組みについて話し合いを行った。グループホームは一人職場の場合が多く支援者間
でのコミュニケーションや情報交換が虐待の予防に繋がっている。なんでも話せ、相談できるよう SNS を
活用しているという事業所もあった。また、支援者側の権利擁護を重要視する意見もあり、支援者と利用
者という関係性だけで支援者が不利な状況となり、虐待を引き起こす可能性もある。そういった状況に対
して、参加されている管理者の方からは支援者支援を重要視する意見もあった。

○児童発達支援ネットワーク（キッズねっと）

今年度はそだちネットワーク部会と連携し、昨年度実施した放課後等デイサービスについての実態調査より抽出された課題についての検討を進めている。その上で、児童発達支援ネットワークとして何を協議すべきなのか確認を行った。

5. その他